

交通安全通信

第七〇号
(年末号)

年末の交通安全県民運動

【期間】
令和七年十二月十五日
から、令和七年十二月三
十一日までの十七日間です。

【目的】
県民一人ひとりが、交通
安全に関する意識を高め、
交通のルールの遵守と交通
マナーの実践に務める事
により、交通事故防止の徹底
を図ることを目指します。

運動の重点

①横断歩行者の安全確保と
高齢者の交通事故防止

②夕暮れ時(どき)と夜間
の交通事故防止

～地域交通安全センター～
スルガ自動車学校

〒424-0204
静岡市清水区興津中町5 2 2 - 1
フリーダイヤル0120-017-120

③飲酒運転等危険運転の
根絶

【静岡市の年間テーマ】

自分自身と相手を守る
交通ルールとマナーの徹底
人も車も自転車も

【スローガン】

安全をつなげて広げて事
故ゼロへ

清水警察署より

清水警察署交通課安全係

金岩係長より

違反や事故を皆で減らそう

自転車乗りにも青切符

前号に引き続き、勘違
いされているルールをいく

つか紹介します。

(一) 横断歩道は歩行者優先！
車道走っていると、前
方に横断歩道が：横断歩行
者がいる時は、必ず止まり
ましょう。歩行者には、自
転車等を押して歩いている
人、シニアカー、こども
(六歳未満)の自転車や三
輪車を含みます。

これが横断歩道ありの標識
と表示です



(二) 自転車は歩行者用信号
に従いますか？

自転車従う信号は、補
助標識や走る場所によつて
変わります。

「歩行者自転車専用」が
ある場合。

歩行者用信号機の横につい
ているこの標識、見たこと
ありますね。



この場所では、歩行者用
信号機に従います。

では、「歩行者自転車専
用」がない場合。

車道走ってれば車両用
信号機、歩道を走っていれ
ば歩行者用信号機に従いま
す。ただし、自転車横断帯
がある場合は、歩道を走つ
ていても車両用信号機に従
います。

(三) 自転車のライトは点滅
でもいい？

自転車のライトは点滅の
方が目立っていいような気
もしますが、「点灯」と決
められているため、点滅だ
けでは足りません。そこで
安全を考える皆さんには、
点灯するライトと点滅する
ライトの両方を使うことを
お勧めします。

(四) 自転車専用通行帯は自
転車だけのもの？



自転車と特定小型原動機付
自転車走る場所です。た
だし、車を道路上に止める

時(人の乗り降りや荷物の
積み降ろし)と、車が左折
する時は、車が入ってくる、
ということを覚えておいて
ください。

車も自転車も、お互いに
ルールを知っていないと、
事故やトラブルのもとにな
ります。自分自身と相手
を守る行動をしましょう

自転車は車の仲間
☆ルールを守って
安全運転☆

令和8年4月1日から
道路交通法の改正によ
り16歳以上の自転車の
運転者を交通反則通
告制度(青色切符)の
対象とする規定が施行
されます。自転車も自
動車と同じように罰金
刑の対象になります。
自転車は道路を通行す
る時には車として交通
ルールを遵守すると
もに交通マナーを実践
し安全運転を心がけま
しょう。

横断する際は、左からの車にご注意！



道路横断中の死亡事故は、交差点、単路ともに歩行者が横断中に左方向から進行してくる車両と衝突する事故が多く、特に夜間に高齢者がこのような事故に遭うケースが多いです。信号機のない場所を横断する場合、車が近づいてきていないか必ず左右を確認し、余裕をもって渡るようにしましょう。また、夜間は、ドライバークラッシュしていることがよく分かるように、道路照明のあるところなどできるだけ明るい場所を選びましょう。

自転車や歩行者も、「ながらスマホ」にご注意を



自転車運転中や歩行中の「ながらスマホ」でも交通事故が多く発生しています。スマホや携帯電話を保持して使用するなどして違反した場合には、6か月以下の拘禁刑又は10万円以下の罰金が科せられることがあります。相手は怪我を負わせた場合には、1年以下の拘禁刑又は30万円以下の罰金が科せられたり、重過失傷害罪などに問われ、被害者から損害賠償を求められることもありますので、「ながらスマホ」は絶対やめましょう。

自転車安全利用五則

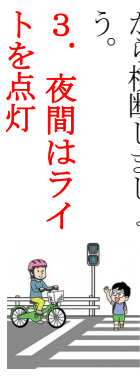
1. 車道が原則、左側通行歩道は例外、歩行者を優先
原則として車道の左側を通行しましょう。

歩道は歩行者が優先です。すぐに停止出来る速度で通行しましょう。



2. 交差点では信号と一時停止を守って安全確認
信号機のある交差点では、信号が青になってから安全を確認して横断しましょう。一時停止のある交差点では、必ず一時停止をして安全を確認してから横断しましょう。

3. 夜間はライトを点灯
夜間は、ライトを点けなければなりません。自転車の乗る前にライトが点くか点検しましょう。



4. 飲酒運転は禁止

お酒を飲んだ時は自転車に乗ってはいけません。

5. ヘルメットを着用

必ずヘルメットを着用して乗車しましょう。

海上保安庁より

118番の日

「海の緊急ダイヤル118番海上保安庁へ」
毎年1月18日を「118番の日」として広く国民の皆様周知しています。今回は海の緊急ダイヤル118番についてお話ししたいと思います。

この118番は、海で起こる事故や事件に海上保安庁がすぐに対応できるようにするため、2000年5月1日から運用が始まりました。これは警察の110番や消防の119番と同じ緊急通報用の番号です。どんな時に118番通報すればいいかという点と海で人が溺れているなどの事故が起きた時、怪しい船を見つけた時など海で人命や安全に関わる異変が起きた時に通報をお願いします。

118番に電話すると、すぐに海上保安庁につながります。そこで海上保安庁が「事件か事故か」や「どこで発生したのか」など詳しい状況を把握するために質問するので、焦らずに落ち着いて答えてください。また、118番にて通報を受けた際は、おおよその発進位置が把握できますが、通報に使用する携帯電話の

GPS機能がオンになっているとより正確な位置を自動で送られるため、救助にかかる時間が短くなることがあります。運用開始から25年以上になりますが、令和6年の1年間で間違い電話やいたずら電話が9割り以上と多くなっています。

118番は緊急で通報する為のもので、いたずら通報することは絶対にしないでください。間違えてしまったときは間違えてしまった事を伝えてください。無言電話の場合、海上保安庁は「何かがあつて電話が切れた」と判断して事件や事故でないことが確認できるまで電話確認などを行います。間違い電話であると分かれば「事件事故でなくて良かった」と安心して電話を切ることでいいからです。

「海の事件事故は118番！」
この機会に覚えて、海で何かあった場合は118番通報をよろしく願います。

